

歌が好き、音楽が好き。だから「ボーカル教室」で地域活性を！

USオーナーズカンパニー代表取締役 氏家孝一さん

編集長
インタビュー



昭和23年、東京・駒沢生まれ。61歳。高校卒業後、最初に勤めたのは、日本電信電話公社(現NTT)。22歳のときにビートルズに出会い音楽に開眼。バンドを組み、初のコンサートでスポットライトを浴びたときの感動が忘れられず音楽の道に。趣味は、パチンコと奥さまと二人で楽しむ旅行
※9/27(日)、世田谷の成城ホールで「USボーカル教室合同発表会」を開催

全国に154校、生徒数1万4000人超の「USボーカル教室」を束ねるのが、㈱USオーナーズカンパニー社長の氏家孝一さん。

起業は平成14年。そのきっかけは「30数年前、自分でバンドをやっている、コンサートを開くごとに仲間が増えて出演者だけで1000組にもなった。そこからプロが生まれてね…」。音楽業界に足を踏み入れたこの時期のエピソードはとても面白いのだが、書ききれないので割愛。29歳で(歌の)プロを養成するスクールを始め、やがて生徒数は約3000人という規模に。「でも月謝を払って、習って、技術を身に付けても、それを生かす職場がないんですね。なら今度はその職場を作ろうと。自分で教えて自分で経営する教室。人(生徒)は僕が集めれば良い。「歌が好き、音楽が好きという人が自らオーナーになって教室を開く」フランチャイズ展開の「U

Sボーカル教室」の誕生だ。

教室のキャッチコピーは“ビックリするほどうまくなる”。氏家社長にその真意を尋ねると、「だれでもすぐにうまくなります。それは、体のすべてを使うっていうこと。でもそれ以上は企業秘密！(笑)」。さらに質問すると、社長は立ち上がり、自ら体を使って実践し、「まずは30分の無料体験で、声が変わるということをご自身で実感してもらうことが一番」と。さすが、PRもお上手だ。

「“くもん”さんみたいに街中に教室をつくり、近所の奥さま方が気軽に通えるようにしたかった。地域密着、地域活性、簡単に言うと、歌を通してのコミュニケーション、仲間づくりを目指しているんです」。多忙な社長業の傍ら、今も1日5～6時間はインストラクターを直接指導するという氏家社長。歌に対する熱い思いがこの事業を支えている。(石河久美)